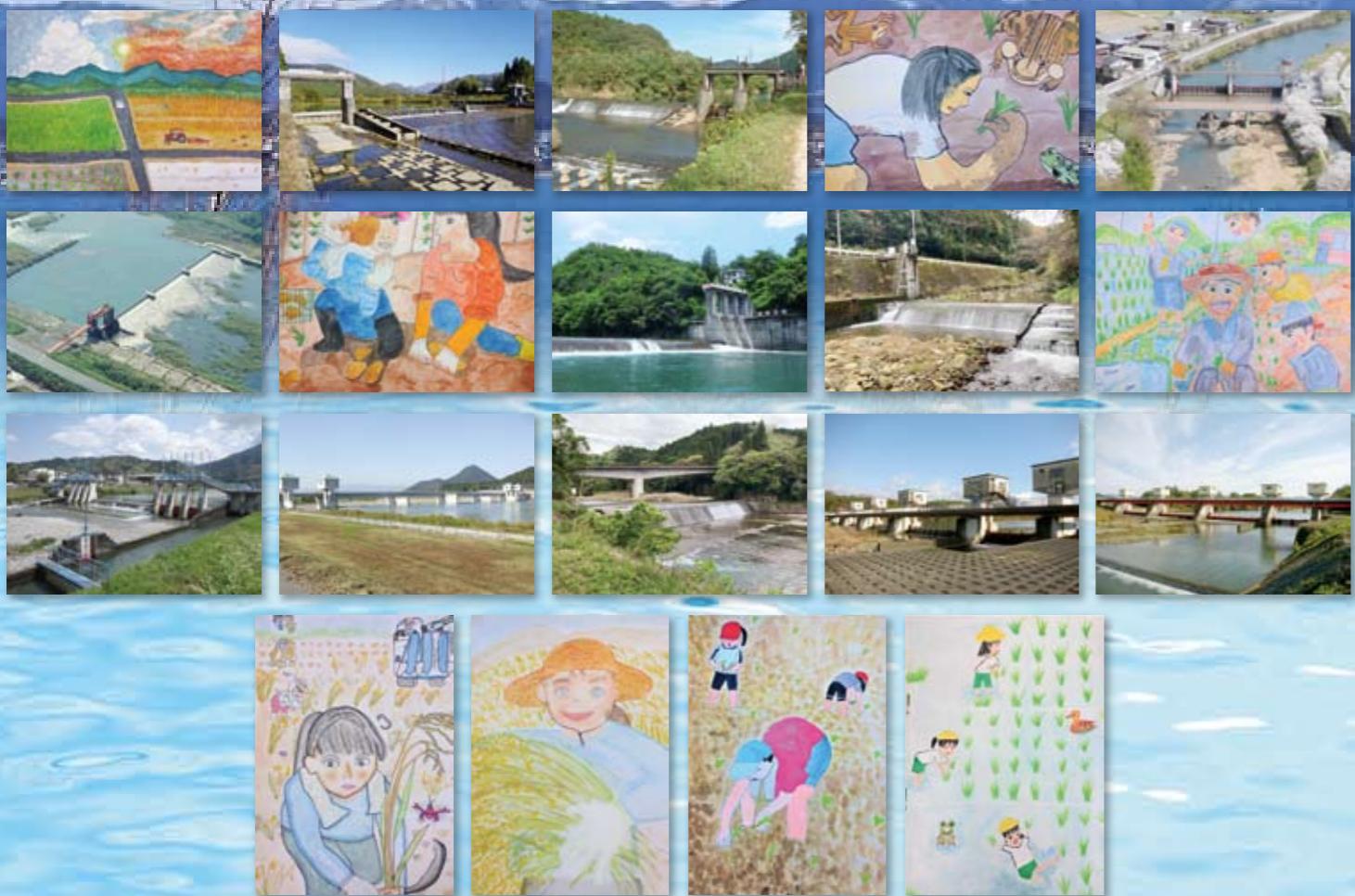


進めよう！子どもたちから高齢者まで、みんなが働きやすく、暮らしやすい、
自然が豊かで活力と個性のある「豊かな農村環境づくり」



水土里ネット滋賀(滋賀県土地改良事業団体連合会)
〒521-1224 滋賀県東近江市林町 601 番地

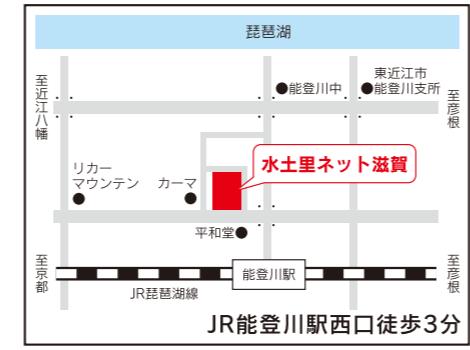
●課・担当 ●TEL(ダイヤルイン) ●メール

総務課 0748-42-4806 soumu@midorinet-shiga.com

業務課
・換地担当 0748-42-7168 kanti@midorinet-shiga.com
・農村まるごと保全 (農村まるごと保全サポートセンター)
推進担当 0749-59-3636 support-center@midorinet-shiga.com

基盤管理推進室
・ため池管理
保全担当 0748-42-7101 kanri@midorinet-shiga.com
・アセットマネジメント
担当 0748-42-7167 gizyutu@midorinet-shiga.com

●FAX 0748-42-5574
●ホームページ <https://www.midorinet-shiga.com>



みどり 水土里ネット滋賀 NEWS

滋賀県土地改良事業団体連合会



力強い農業の確立と
活力ある農村の振興を応援します

令和4年度 田んぼ大好きふるさと農村
子ども絵画コンクール 受賞作品



「滋賀県知事賞」
田植えを見守るカエルたち

「滋賀県教育長賞」
田んぼの一年間～晴天と夕焼け～



「滋賀県世代をつなぐ農村まるごと
保全推進協議会長賞」
じゃがいも ほれたよ!!



CONTENTS

- 「令和5年度農業農村整備事業関係予算」について 5
- 「各種研修会の開催」について 6
- 「第44回全国土地改良大会沖縄大会」が開催されました 9
- 「要望活動」～農村基盤整備推進議員連盟や国営農業水利事業滋賀協議会と連携～ 10
- 「国会議員による現地視察・意見交換会」を開催しました 11
- トピックス「令和4年度農村振興技術連盟大賞」受賞報告等 12
- 「主な会務の状況(R4.7.1 ~ 12.31) 13



ご挨拶



滋賀県土地改良事業団体連合会(水土里ネット滋賀)
会長 家森 茂樹

新年あけましておめでとうございます。輝かしい新春を迎える、謹んで御挨拶を申し上げます。

会員並びに関係の皆様方には、水土里ネット滋賀の運営に対しまして格別のご理解とご協力を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、国の令和5年度農業農村整備事業関係予算の概算決定では、令和4年度補正と5年度当初を合わせて、総額は6,134億円となります。

このうち、4年度の補正予算における本県への割当状況は、関係議員のご尽力のお陰もあり、事業費ベースで要求額の満額となる23億円となっておりますし、農業水利施設の電気料金高騰対策も盛り込まれ、地域の要望に応えられる所要の予算が確保できたものと考えております。

一方で、昨年5月に発生した明治用水頭首工の大規模漏水については、まさに全国的に進む水インフラの老朽化の現れで、老朽化施設が急増している本県でも送水管路の漏水などの突発事故が頻発しており、計画的で加速的な農業水利施設の保全更新対策や防災減災対策が益々重要になっております。加えて、ウクライナ情勢の緊迫化等により農事用電力料金の燃料調整費が大幅に値上げされる状況となっており、来年度はさらなる料金上昇が見込まれます。過疎化・高齢化、担い手の不足に加え、地域活力の低下などの課題が山積みしている農村地域に対する政策の充実も不可欠です。

こうした課題に対応していくためには、本県の農業農村整備事業予算はまだまだ伸ばさなければなりませんし、政策の充実も求めていく必要がありますので、関係省庁や国会議員等に対して県議会の農村基盤整備推進議員連盟や国営農業水利事業滋賀協議会と連携して要望を行なっていく所存であります。

今後とも、予算確保や各種制度の充実、農事用電力の維持軽減など喫緊の課題に全力で取り組んでまいりますので、皆様方の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆様方のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げますとともに、本会に対して今まで同様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



令和5年1月



ご挨拶



滋賀県知事
三日月 大造

新年あけましておめでとうございます。

滋賀県土地改良事業団体連合会会員ならびに関係の皆様におかれましては、幸多き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から県行政とりわけ農業農村整備事業の推進に、格別の御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、3年に及ぶ新型コロナウイルス感染症対策や、全国的に頻発し、本県でも発生した鳥インフルエンザの防疫措置など、私たちは様々な経験から、多くのことを学びました。皆様におかれましては、様々な制約がある中、日々、農業の礎である農地や農業水利施設の適切な管理に御尽力いただき、あらためて敬意を表します。今後は、「感染を防ぎつつ、コロナと共存しながら、社会・経済活動を進める」という生活様式への移行に努めてまいりますので、引き続き御協力をお願い申し上げます。

滋賀県政150周年を迎えた昨年、我々が先人から受け継いできた「琵琶湖システム」の世界農業遺産認定など、多くの「種」をまき、未来の滋賀へつなぐ一歩を踏み出しました。大事な一年となりますが、謙虚かつ果敢に、しっかりと皆様と共に取り組んでまいりたいと存じます。

今、世界情勢が私たちの暮らしに影響を与え、人口減少・少子高齢化の進行、地球温暖化に伴う異常気象や災害の発生、燃料費高騰に伴う電気料金の高騰など、先行きが見えない不安が増しています。そのような中にあっても「未来へと幸せが続く滋賀」を実現し、農業・農村を次世代に引き継ぐため、農業水利施設の効率的かつ計画的な保全更新対策、農業者の経営力向上や農業のグリーン化・デジタル化につながる農地の基盤整備などを進めてまいります。引き続き、皆様の御理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年も滋賀の農業・農村の力を信じて、その魅力を発信してまいりたいと存じます。皆様にとって希望に満ちた素晴らしい年になりますことを心よりお祈り申し上げます。



新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問
参議院議員 進藤 金日子

新年、明けましておめでとうございます。滋賀県土地改良事業団体連合会の皆様には、旧年中、大変お世話になりました。お陰様で先般の参議院議員選挙で再選を果たすことができました。二期目においても、引き続き現場主義、地域主義に徹して政策実現に努めてまいる覚悟です。本年も何卒宜しくお願ひ致します。

懸案の土地改良予算については、昨年12月に成立した令和4年度補正予算で1,677億円(TPP等対策:760億円、国土強靭化5か年加速化対策:817億円、食料安全保障対策:100億円)が措置され、また、令和5年度当初予算政府原案は昨年度より4億円増加の4,457億円で、補正予算と合わせて6,134億円となりました。これらには農業水利施設の電気料金高騰対策も盛り込まれ、本年度と同様に地域の要望に応えられる所要の予算が確保できたものと考えています。

さて、昨年を振り返ると、新型コロナウイルス感染症が続く中、2月のロシアのウクライナへの侵略により、エネルギー価格の上昇、穀物価格や飼料価格の上昇、肥料価格の高騰、円安の急激な進行による物価の上昇等があり、これらは国民生活に大きな影響を与えています。政府は、エネルギー価格や電気料金、肥料価格等の高騰対策を講じてきたところですが、これらを含め物価高は本年も続くと思われます。引き続き、物価動向を注視しながら必要な対策を講じることが重要であり、私も各種対策の実現に貢献してまいる覚悟です。

昨年7月の再選後、全国各地で講演等を行ってまいりました。そこで感じたのは、経済安全保障と食料安全保障に対する国民の意識の高まりです。昨年後半の円安の進行も踏まえ、各種生産拠点の国内回帰をはじめ国内での強靭なサプライチェーン再構築の緊急性を改めて認識しております。

また、昨年6月の参議院決算委員会で、私は政治信条である「食料安全保障」について岸田総理に対し質問しました。総理からは「食料の安定供給の確保は国家の国民に対する最も基本的な責務の一つ。新しい資本主義のビジョンの下、食料安全保障を強化するべく政府一体となって取り組んでいきたい」との答弁を頂きました。

私は、「食料供給力」(国内生産力、輸入力、備蓄)の中で弱体化している国内生産体制の強化が喫緊の課題で、まさに「食料自給力」の強化が不可欠であると訴えています。その最も基礎的なものが「農地・水等の農業資源」であり、自給力の強化を図るには、農地と水の持つ機能を高める土地改良を中長期的な展望を持って推進していくことが重要です。このため、今後も予算を安定的に確保するとともに、貴重な予算を効率的、効果的に執行し、目に見える成果を出していかなければなりません。

本年も土地改良推進に対する貴連合会の皆様のご協力をお願い致しますとともに、皆様からのご指導とご鞭撻を心からお願い申し上げ、新年のご挨拶にさせていただきます。



新年のご挨拶

水土里ネット会長会議顧問
参議院議員 宮崎 雅夫

新年明けましておめでとうございます。滋賀県土地改良事業団体連合会の会員各位ならびに関係の皆様方へ謹んで初春のお慶びを申し上げます。

皆様方におかれましては、日頃より地域の重要な資源である水と土を守り、地域農業の発展や農山村の活性化に向け、農業農村整備事業の円滑な推進ならびに土地改良施設等の適切な管理や土地改良区の適正な運営にご尽力いただいておりますことに敬意を表しますとともに、旧年中は、私の活動に対し多大なるご支援とご指導を賜りましたことに衷心より感謝申し上げます。

さて、私も皆様方から多くのご支援をいただきながら、昨年8月まで農林水産大臣政務官を勤めさせていただき、その間皆様方から多くのご要望等をお受けしましたが、それぞれの地域の課題解決等に向け、進藤金日子議員や農水省の職員の皆さん等と共に一所懸命に対応させていただきました。これらご要請の事項を含め、昨年12月に成立した平成4年度第2次補正予算では、農林水産関係で総額8,206億円、このうち、農業農村整備事業関係については、1,677億円(食料安全保障強化対策100億円、総合的なTPP等関連対策760億円、防災・減災、国土強靭化817億円)が措置され、この中には、皆様方から強いご要望があった土地改良施設にかかる電力料金の高騰対策として、増嵩分の7割を支援する新たな制度も含まれています。また、令和5年度の当初予算概算決定額として、前年を上回る4,457億円が計上されており、合計額は6,134億円となる見込みとなりました。これから行われる国会での議論において、しっかりと確保できるよう努めてまいります。

さらに、昨今の国際情勢や長引くコロナ禍により、農業農村にも多くの影響が及んでいますが、とりわけ、カロリーベースで6割程度を輸入に頼る我が国の食料事情にあって、その安定供給を図る食料安全保障の確立に向けた取り組みが求められています。国内農作物の生産を支える農地や水利施設等の整備・維持という重要な役割を土地改良が担っており、農業従事者数の減少傾向に対応するスマート農業を視野に入れた土地改良の取組促進や農業農村関係人口の拡大などを含め、しっかりと推進していくことが重要です。

私も、卯年の今年は年男を迎えますので、「食・土地改良・農山漁村は未来への礎」を理念に初心に立ち返り、これまでにも増して現場主義に徹し、現場や地域の課題をしっかりとお伺いして皆様のお声を国政に届け、必要な予算の確保と現場の実情に即した制度の充実に向け、誠心誠意努力してまいる決意ですので、引き続きご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、滋賀県土地改良事業団体連合会ならびに会員土地改良区、関係機関の益々のご発展と皆様方のご健勝を心より祈念申しあげ私の新年の挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願い申し上げます。



令和5年度 農業農村整備事業関係予算 概算決定

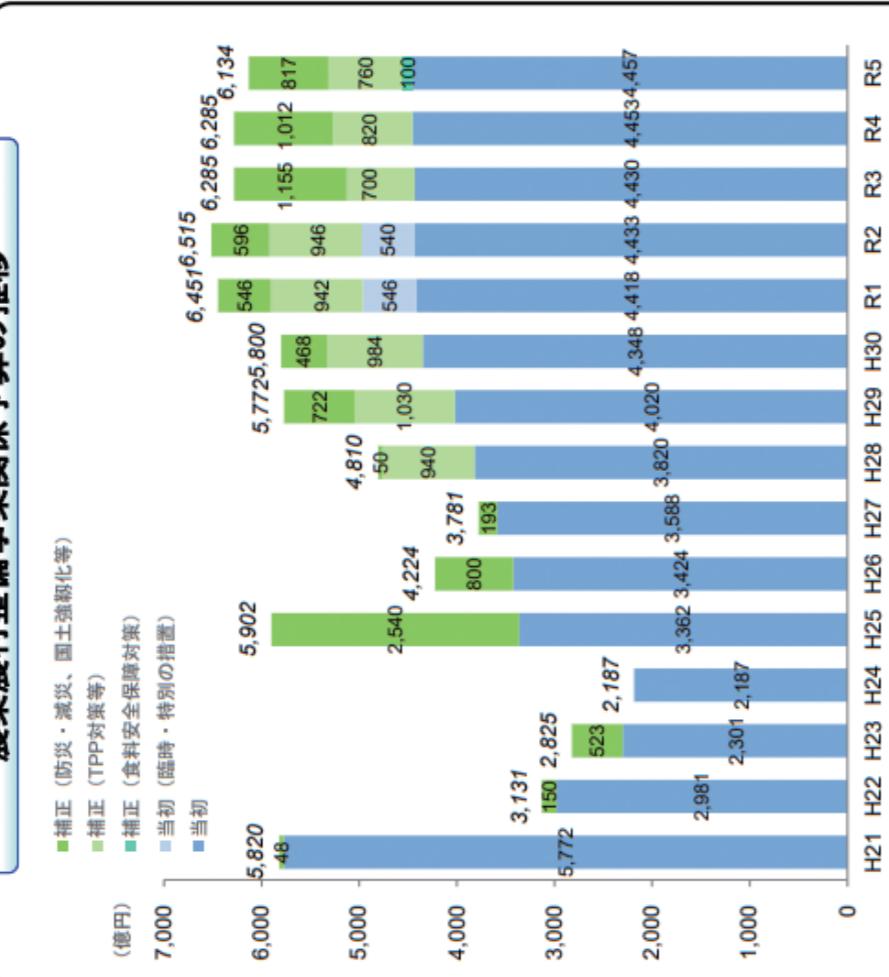
- 農業農村整備事業関係予算の令和5年度当初予算は4,457億円(対前年度比100.1%)
- また、防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策及びTPP対策、食料安全保障対策として、令和4年度補正予算に
おいて1,677億円を計上し、これらの総額は6,134億円

令和5年度予算等

	(単位:億円)				
	令和4年度 当初予算	令和5年度 当初予算	令和4年度 補正予算	A+B	合計
農業農村整備事業(公共)	3,321	3,323	1,677	5,000	
農業農村整備関連事業(非公共) <small>(農地耕作条件改善事業 農業水路等整備事業、農山漁村振興交付金 農業等促進整備事業)</small>	540	543	-	543	
農山漁村地域整備交付金(公共) <small>(農業農村整備分)</small>	591	591	-	591	
計	4,453	4,457	1,677	6,134	

注：計数は四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。

農業農村整備事業関係予算の推移



「各種研修会の開催」について

「換地事務(新規)担当者研修会」の開催

8月2日(火)～4日(木)の3日間、本会3F大研修室において、「換地事務(新規)担当者研修」を開催し、市町・土地改良区の職員5名が出席しました。

1日目は、土地改良法の概要と換地理論等の知識について当会職員より講義をした後、午後は従前地の調書作成や演習を行い、2日目、3日目は土地評価や換地選定、換地計画原案の作成について、グループワークを交えた討議、演習を行いました。



「未納賦課金対策研修会」の開催

8月26日(金)、能登川コミュニティセンターにて「未納賦課金対策研修会」を開催し、県・市町・土地改良区の役職員約80名が出席しました。講演後には出席者から数多くの質問があり、有意義な研修会となりました。



【講演】

- 『滞納処分の留意点、土地改良区の未納賦課金対策について』 近畿農政局
- 『(事例報告) 日野川流域土地改良区での対策』
- 『土地改良区における未納賦課金への具体的な対応について』 前川直輝弁護士
- 意見交換、個別相談など

「土地改良区職員(中堅)研修会」の開催

8月30日(火)、本会3F大会議室にて「土地改良区職員(中堅)研修会」を開催し、県内土地改良区職員18名が出席しました。元農林水産省農村振興局長・太田信介氏を講師として、ワークショップ形式により、今、現在の土地改良区が抱える問題解決に向けて意見を出し合い、発表を行いました。今後は、出席メンバーとの親睦を深めるとともに、研修での気づきを業務に活かしたいと決意を新たにされました。



■基幹水利施設省エネルギー化研修及び技術実践向上研修会の開催

10月26日(水)、本会3F大研修室にて「基幹水利施設省エネルギー化技術実践向上研修」および「第1回 技術実践向上研修会(電気設備講習)」を開催し、県・土地改良区等の関係者25名が出席しました。

今回は、びわこ揚水土地改良区の新琵琶湖揚水機場で実施している省エネルギー化に向けた現地調査等の中間レビューと、電気基礎知識として電気理論および単線結線図の読み方の実務を県土連職員により実施いたしました。



■「土地改良区・市町・県役職員研修会」の開催

12月9日(金)、能登川コミュニティセンターにて、「土地改良区・市町・県役職員研修会」を開催し、県内の土地改良区等関係者約110名が出席しました。

全国水土里ネット等による「土地改良団体の展開方向について」、「土地改良区等における男女共同参画の更なる推進について」の講演に引き続き、特別講演として、近畿農政局 大内毅次長より「農業・農村を巡る状況の変化と土地改良事業の対応」についてのご講演いただきました。



近畿農政局
大内次長の講演



◆研修内容

- 1) 「土地改良団体の展開方向について」
全国水土里ネット 管理システム研究部長 茂木 重信 氏
- 2) 「土地改良区等における男女共同参画の更なる推進について」
近畿農政局 農村振興部 土地改良管理課長 加藤 輝雄 氏

【特別講演】

- 「農業・農村を巡る状況の変化と土地改良事業の対応」
近畿農政局 次長 大内 毅氏

■「財務管理強化指導・相談会」を開催

会計指導員が出向く複式簿記導入(予定)土地改良区への「巡回指導」は一巡し、複式簿記が実践される状況となっていました。今回の指導・相談会では、複式簿記を導入(予定)の土地改良区を対象に、担当者の疑問や課題を共有し、幅広く意見交換等も行うこととして定期的(年間5回)に開催しています。



■「統合整備推進研修(会計研修)」を開催

11月11日(金)、能登川コミュニティセンターにて、「統合整備推進研修(会計研修)」を開催し、県内の土地改良区等関係者約110名が出席しました。

今回の研修会は、単式簿記方式を継続して貸借対照表を作成する方法、次に財務諸表等を活用した財務分析の方法、最後に財務諸表等の作成手続きについて全土連担当者より説明がありました。



■「監査実務等向上研修」を開催

12月には、彦根と草津の二会場に分けて、「監査実務等向上研修」を開催しました。「監事の責務と監査実務の留意点」、「土地改良区検査制度の概要について」の講演後、税理士法人ブレイズの小原様より「土地改良区の会計について」と題して講演頂きました。

会計経理等の仕組みや財務諸表のチェック項目等をわかりやすく説明をしていただきました。



「第44回全国土地改良大会沖縄大会」が開催されました

11月21日(月)～23日(水)、「第44回全国土地改良大会沖縄大会」に県内の土地改良関係者24名が参加しました。

21日には慶座地下ダム(八重瀬町)を視察、22日の「大会式典」においては、長年にわたり土地改良事業の推進にご尽力された方々の功績を讃えて表彰式が行われ、全国土地改良事業団体連合会長表彰に「野洲川下流土地改良区理事長の白井 嘉嗣 氏」が受賞されました。誠におめでとうございます。



二階全土連会長



白井理事長



慶座地下ダム

『水土里ネット相談』を実施しています

【開催日】

毎月第2水曜日

【内 容】

- ・土地改良区の運営に当たり、多種多様な悩み事への相談に対応するため、定期相談を開催しますのでご活用下さい。

■主な応対内容

- 土地改良区の運営について
- 賦課金の問題について
- 訴訟に関すること
- 会計について

上記以外の内容でもお気軽に電話下さい。

ご希望の場合、水土里ネット滋賀ホームページ『水土里ネット相談申込書』(Excelファイル)によりお申し込み下さい。

要 望 活 動

～農村基盤整備推進議員連盟や国営農業水利事業滋賀協議会と連携～

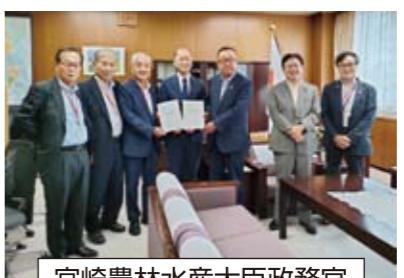
1. 農業水利施設の老朽化と電力高騰など国へ対策要望

8月5日(金)、武部農林水産副大臣、宮崎農林水産大臣政務官、高村財務大臣政務官などに、農事用電力料金の高騰に対する支援等について要望を行ないました。

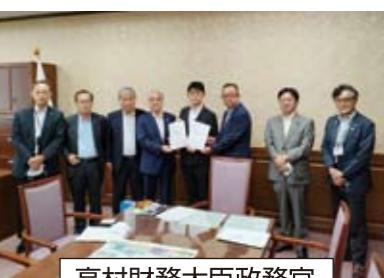
武部副大臣は、「全国の多くの土地改良区から電気代の高騰への対策は喫緊の課題とお伺いしている。肥料の価格高騰や米価の低迷が深刻な中、農業者の負担を少しでも抑えるべく、対応を詰めているところ。ご要望をしっかりと受け止め取り組んでいきたい」と応じられました。また、10月18日～19日にも、農業農村整備事業予算の拡大や農事用電力料金高騰対策等に関する要望を行っております。



武部農林水産副大臣



宮崎農林水産大臣政務官



高村財務大臣政務官

2. 農業水利施設の老朽化と電力高騰など滋賀県へ対策要望

8月10日(水)、三日月知事ら幹部に農業・農村の振興に関する要望を行いました。老朽化が顕著な県内の農業水利施設やため池、干拓施設の計画的な保全更新対策や農事用電力料金の急激な高騰が課題となっている現状を報告しました。

三日月知事は「食物を作る基盤は本当に大事。いただいた要望をどのように対応していくのか検討していきたい。電力料金については、近々の対策は検討していくが、中長期の抜本的な対策を皆さんと考えていきたい。」と回答されました。

また、12月5日にも、農業農村整備事業予算の確保に向け要望しております。



三日月知事



岩佐議長、清水副議長

3. 関西電力へ農事用電力料金の負担軽減等を要請

令和4年9月6日(火)、関西電力株式会社ソリューション本部に対し、農事用電力の料金メニューの継続や軽減等に向けた要請を行いました。今年度の主な土地改良区の農事用電力料金は、昨年度の約5.1億円に対し、1.4倍となりこれ以上の増額には耐えられない状況にあります。

要請書を受け取った小南統括部長は「頂いたご意見、内容はしっかりと本部に伝える」と応じられました。



小南統括部長

「国会議員による現地視察・意見交換会」を開催しました

1. うえの衆議院議員の現地視察を開催



2. 小寺衆議院議員、進藤参議院議員の現地視察・意見交換会を開催



最近のトピックス

「令和4年度農村振興技術連盟大賞」受賞報告

当会 専務理事・岩崎善司が「令和4年度 農村振興技術連盟大賞」を受賞しました。この賞は、農村の振興に係る技術力の向上並びに農村地域の発展に寄与された方に贈られるもので、以下の日程で表彰式と祝賀会が執り行われました。

【表彰式・受賞祝賀会】

令和4年10月25日(火) 東京・日比谷公園内「松本楼」



【当会 専務理事・岩崎善司の主な経歴】

- 滋賀県農政水産部農村振興課 課長
- 滋賀県湖北農業農村振興事務所 所長
- 滋賀県企業庁 次長
- 滋賀県退職
- 滋賀県土地改良事業団体連合会 専務理事

令和4年度資格取得者

■ 1級 電気工事施工管理技術検定の免状を取得しました
業務課 技術専門員 山田善人

■ 新たに会計指導員として認定を受けました
総務課 係長 恒川明子

■ 新たに浄化槽管理士として認定を受けました
業務課 技師 采野大樹

主な会務の状況(R4.7.1～12.31)

月 日	内 容	場 所
5月～R5.1月	財務管理強化指導・相談会(5回開催)	水土里ネット滋賀
7月19日	電力料金高騰支援対策説明会	〃
7月21日・27日	近畿水土里ネット連合協議会の要望活動	京都・東京
7月26日	全国農業集落排水事業推進協議会要望活動	東京
7月28日	決算監査、第1回理事会	水土里ネット滋賀
8月 5日	農林水産省、財務省への要望(農事用電力料金高騰対策)	東京
8月2～4日	換地事務(新規)担当者研修会	水土里ネット滋賀
8月10日	県知事、県議会への要望活動	県庁
8月26日	未納賦課金対策研修会	能登川コミセン
〃	女性理事登用の取組に係る意見交換会	水土里ネット滋賀
8月30日	土地改良区職員(中堅)研修会	〃
8月31日	うえの衆議院議員現地視察・意見交換	長浜市他
9月 6日	関西電力要望	関電滋賀支社
9月14日	全国水土里ネット事務責任者会議(概算要求)	オンライン
9月21日	農業農村整備の推進に向けた意見交換会	水土里ネット滋賀
10月 1日	進藤参議院議員現地視察・意見交換	高島市
10月 7日	農村基盤整備推進議員連盟総会	県庁
10月 8日	小寺衆議院議員・進藤参議院議員現地視察・意見交換	東近江市
10月18～19日	農林水産省、財務省、国会議員への要望活動	東京
10月20日	農業農村整備の集い	〃
10月25日	令和4年度農村振興技術連盟大賞表彰式	〃
10月26日	基幹水利施設省エネルギー化技術実践向上研修	水土里ネット滋賀
11月11日	統合整備推進研修(会計研修)	能登川コミセン
11月21～23日	全国土地改良大会沖縄大会	沖縄
11月25日	中間監査、第1回監事會、第2回理事会	水土里ネット滋賀
12月 5日	県知事、県議会への要望活動	県庁
12月 7日・13日	監査実務等向上研修	彦根市・草津市
12月 9日	土地改良区・市町・県役職員研修会	能登川コミセン

2025年度まで
に女性理事の
登用を！

2025年度までに
女性理事が占める割合を0.6%→10%以上に！

女性理事
登用

農業・農村の振興を支えてきた土地改良を、次世代につなげることが我々の役目です。現代社会を生き抜くために、
土地改良度を担う組織にはいろいろな人材の参画が必要です。土地改良の新たな発展へ、共に進んでいきましょう。

組合員だけでなく、員外理事でもOK

組合員からの登用が難しい場合、員外理事制度も活用できます(定款に定めれば理事定数の5分の2まで可能)。組合員のご家族、会計士、6次産業や県内外に携わっている方、他にも農業団体で役員を務めている方などの参画が期待できるのではないかでしょうか。

働く場を、再点検

これを機に、土地改良区員外理事会も含め、改めて働く環境を見つめませんか?無職の思い込み(お茶入れや電話取り次ぎは女性、外業は男性など)、削除・介護制度の整備、技術や資格取得のためいる方などの方々が期待できるのではないかと。



成果目標

女性職員
登用

全国の土地改良区(土地改良区運営会議)において、
2025年度までに女性理事が登用されない組織数
をゼロに。理事に占める女性の割合を10%以上に。
計画:第3次男女共同参画基本計画(2020.12)、
土地改良区運営会議(2021.3)

